



YN560-III

USER MANUAL

ご使用になる前に、安全のために本書をよくお読みください。
将来的に参考にしてください。

この取扱説明書は作者が個人的に使用する目的で翻訳作成しています。
他者が記載されている内容を参考として個人的に利用することは拒みません。
但し、営利目的での利用はご遠慮下さい。
尚、記載されている内容に関しての間違い等が起因した不具合について一切の責任は負いません。
間違い、ニュアンスの違い等があればメールでお知らせください。修正改定致します。
メールアドレス info@digiitizi.com

2018年3月8日 初版作成 デジイチ爺



English

I. 警告

火災や電気ショックを避けるために、この製品を雨や湿気にさらさないでください。

短絡を避けるために、電池の接点が確実に梱包されていることを確認してください。電池を取り扱うときに備えてください。

電池や部品を誤って飲み込まないように子供の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡してください。

目への怪我を防ぐために至近距離から直接フラッシュの光を見ないでください

安全上の事故を避けるために、高い注意を必要とする人にはフラッシュライトを使用しないでください

以下の場合には電池を取り出して直ちに使用を中止してください。

- 本製品を落としたり、重大なショックを与えたたり、製品の内部を露出させた場合。
- 電池が腐食性の液体を漏らした場合は、手袋をして電池を取り出してください。
- 製品が奇妙なにおい、煙または熱を発する場合。

製品を分解または保守しないでください。内部の高電圧回路に触れると、感電の原因となります。

長時間使用しないときはバッテリーを取り外してください。

II. 特徴

- **2.4G 超長距離ワイヤレスフラッシュ**

2.4G超長距離ワイヤレスフラッシュをサポートし、最長のトリガ距離は最大100メートルです。

- **RF-603、RF-602ワイヤレストランスマッタを完全にサポートします。**

YN560-IIIは、RF-603、RF-602ワイヤレストランスマッタによって送信された信号を受信することができ、16チャンネルをサポートしています。

- **大型LCD**

YN560-IIIには大型液晶画面が装備されていますので、フラッシュのすべての機能を便利で使いやすいように、わかりやすく直感的に表示することができます。

- **パワーズーム機能付き**

[ZOOM]ボタンを押すと、焦点距離を24~105mmの範囲で変更できます。

- **GN58 @ ISO100, 105mm**

高指数2.4Gラジオフラッシュ、M/マルチモードをサポートします。

- **さまざまなトリガ同期、柔軟かつ変更可能。**

YN560-IIIは、カメラのセットトップ、2.4Gラジオ、S1とS2プリフラッシュによってトリガーできます。

- **外部パワーパック用の充電ソケットを装備**

YN560-IIIは、より高い充電リサイクル需要に応えるため、外部パワーパック用充電ソケットを提供します。

● PCポートをサポート

YN560-ⅢはPCポートを提供していますので、PCポートに接続することで同期してフラッシュを行うことができます。

● サウンドプロンプトシステム

サウンドプロンプトシステムが有効になっているときは、スピードライトのさまざまな動作条件が異なるサウンドウェイでプロンプトされ、撮影にのみ集中できます。

● 超高速充電リサイクル

新しい電池がなくても3秒で充電が完了しますが、4~5秒間必要なスーパー充電速度を得ることができます。また、外部電源パックを使用して充電速度をさらに加速することもできます。

● 高度なオプション機能

YN560-Ⅲは、あなた自身の要求に応じてスピードライトを自己定義できる機能を設定する高度なオプションを備えています。

● 自動設定保存

YN560-Ⅲは現在の設定を自動的に保存します。

● 金属ホットシュースタンド

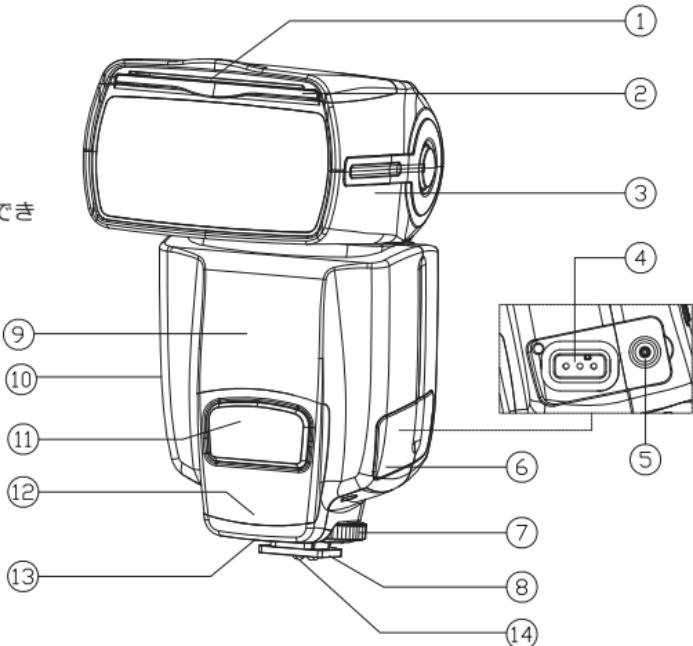
III. クイックスタート

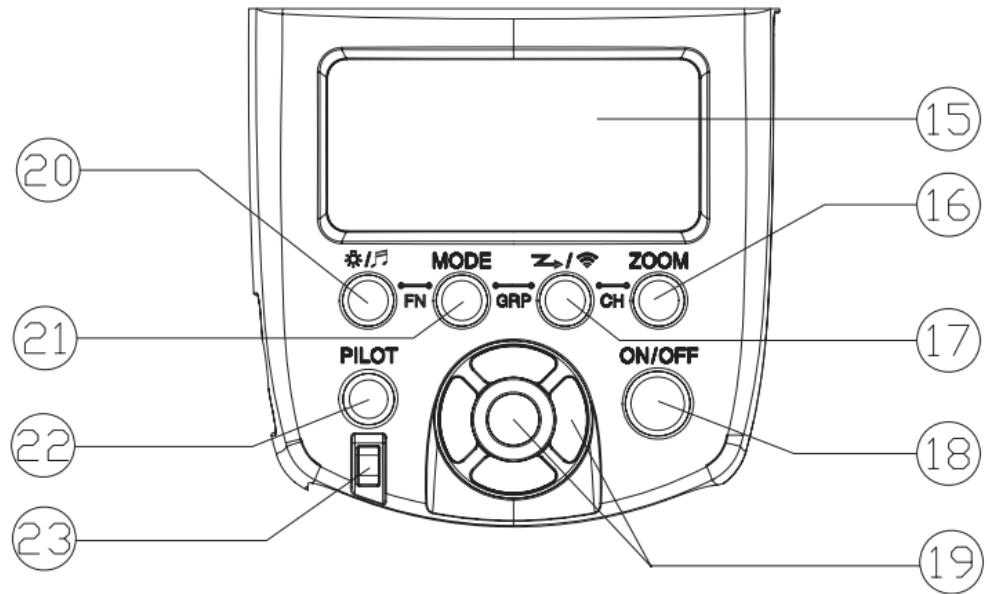
ユーザーマニュアル全体を読む時間があまりない場合は、このセクションを読むことをお勧めします。

1. 最大出力を過度に使用しないようにしてください。製品の耐用年数を効果的に延ばすことができます。
2. ボタンを押して表示された内容を見ることによって、各ボタンの機能を理解することができます。
3. [UP]、[DOWN]、[LEFT]、[RIGHT] 現在のモードを迅速に「スピードライト」のパラメータを調整するボタン。
いくつかのパラメーターでは、中央の[OK]ボタンを押して設定する必要があります。
4. この [ / ] ボタンを押して、カメラ設定フラッシュモード、S1 / S2スレーブフラッシュモード、またはRXスレーブフラッシュモードを選択します。
5. RXスレーブモードでは、[ZOOM]ボタンと[Triggering Mode]ボタンでチャンネルを設定します。
6. 高度なオプションの機能を選択するための [ / ] と[MODE]ボタンを押してください。
コンテンツの「詳細設定」のセクションをご覧ください。
7. 「詳細設定」から<rF 603>項目を選択すると、RF-602トランスマッタに対応する [LEFT] [RIGHT] ボタンが表示されます。
8. この製品はM.Multiモードを提供し、[MODE]ボタンを押してモードを選択します。

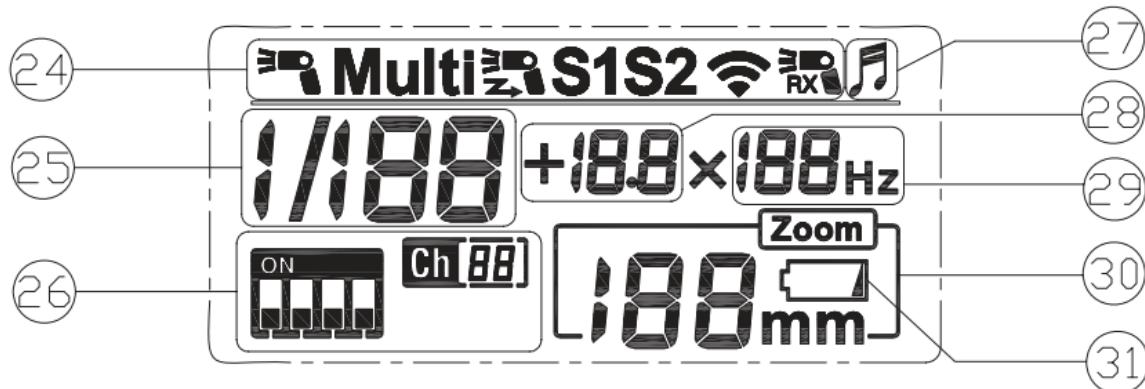
IV. 名称

1. 反射板
2. 広角ヘッド
3. フラッシュライトヘッド
4. 外部パワーパックソケット
(SF-18CまたはSF-17C外部パワーパックに接続することができます)
5. PCポート（入力用）
6. コンタクトカバー
7. 固定ねじ
8. ホットシュースタンド
9. 2.4G無線受信モジュール
10. 電池室カバー
11. 光学制御センサ
12. スレーブモード表示
13. サウンドポート
14. ホットシュー ピン





- 15. LCDパネル:** 機能設定の状態を表示します。
- 16. ZOOM ボタン :** [ZOOM]ボタンを直接操作することで、ランプホルダー（24,28,35,50,70,80,105mm）のズームが調整できます。
- 17. トリガモードボタン ():** フラッシュトリガモードは、押すごとにカメラ設定S1、S2、RXの間で切り替えります。
- 18. 電源スイッチ (ON/OFF):** このボタンを約2秒間押して、スピードライトの電源をオンまたはオフにします。
- 19. 選択/設定ボタングループ :** マルチ機能のボタンには、LEFT、RIGHT、UP、DOWN、OKボタンがあります。これらのボタンを使用すると、出力、ストロボのフラッシュ数、ストロボのフラッシュ周波数、高度なオプションパラメータ、ワイヤレスチャンネルなどを調整できます。
- 20. 照明/サウンドスイッチ :** このボタンを短時間押してLEDバックライトをオン/オフすることができます。このボタンを約2秒間押してスピードライトのサウンドプロンプト機能をオンまたはオフにします。
- 21. モード切替ボタン (MODE):** スピードライトのモードがM/Multiモードに切り替わります。
- 22. 充電表示/テストボタン (PILOT):** 赤いランプは、充電が完了したことを意味します。緑ランプは充電中で、このボタン (PILOT) を押すと、スピードライトはテストフラッシュを送信します。
- 23. 信号表示 :** 信号インジケータが青色で点灯し、スピードライトがRF-602またはRF-603から無線信号を受信すると、スピードライトがトリガされている間、信号インジケータが赤色に点灯します。



- 24. フラッシュモード/トリガーモード表示
- 25. 出力レベル表示
- 26. チャンネル表示
- 27. サウンドプロンプト

- 28. ストロボスコープフラッシュカウント表示/出力レベル調整
- 29. フラッシュ周波数表示
- 30. フラッシュヘッドズーム表示
- 31. 電力低下表示

V. 取付手順

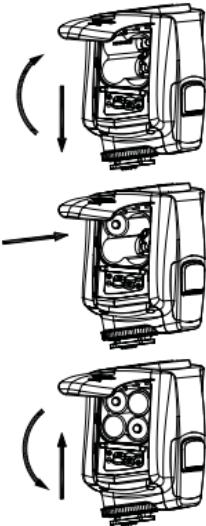
1. 電池の取付け

電池室のカバーを矢印の方向にスライドさせます。

電池室内のラベルに従ってバッテリーを挿入してください。

電池の極性の方向が正しいことを確認してください。

電池室カバーを矢印の方向に閉じます。



2. カメラにスピードライトを取り付けます。

固定ねじを矢印の方向に回して緩めます。

スピードライトのホットシュークリップをカメラのホットシュークリップに止まるまで滑らせます。

固定ねじを矢印の方向に回して締めます。

スピードライトを取り外すには、固定ねじを反対方向に回して緩めます。



VI. 基本機能

1. 基本操作

ボタンの操作

構成要素	操作
[電源スイッチ]	このボタンを2秒間押し続けると、スピードライトの電源をオンまたはオフにできます。スピードライトの電源をオフにした後、バッテリーを取り出してください。
[モードスイッチ]ボタン	スピードライトのモードは、押すたびにM / Multi が切り替わります。
[トリガーモード]ボタン	フラッシュトリガモードは、押すごとにカメラセットアップS1、S2、RXの間で切り替わります。
[照明/サウンド]ボタン	このボタンを押してLCDバックライトをオン/オフすることができます。スピードライトのサウンドプロンプト機能は、このボタンを約2秒間押してオンまたはオフにします。
選択/設定ボタンセット	マルチファンクションのボタンには、LEFT、RIGHT、UP、DOWN、およびOKボタンがあり、これらのボタンを使用して、出力レベル、ストロボスコープフラッシュカウント、ストロボスコープフラッシュ頻度、高度なオプションパラメータ、ワイヤレスチャンネルなどを調整できます。
ZOOM ボタン	[ZOOM]ボタンを直接操作すると、ランプホルダーのズームレンジを調整できます（24,28,35,50,70,80,105mm）。
[PILOT] ボタン	赤いランプは充電が完了したことを表示し、緑色のランプは充電中を表示します。このボタン (PILOT) を押すとスピードライトはテストフラッシュします。

[充電表示]の内容説明

[充電表示]の状態	内 容	操 作
赤色	完全に充電され、使用することができます。	正常
緑色	完全に充電されていないか、または低電力で動作しています。	緑色のライトが長時間点灯している場合は、バッテリを交換してください。
赤色点滅	スピードライトは待機状態にある。	[PILOT]または[ON/OFF]ボタンを押すと待機状態から復帰します。

[サウンドプロンプト]の内容説明

音の状態	内 容	操 作
2度連続音	起動される/音声プロンプトが有効/フラッシュが得られる。	正常
3度連続音	充電状態	充電の完了を待つ
連続的で速い音	電力が十分ではなく、電源がオフになります。	電池を交換してください。
長く続く音	完全に充電され、使用することができます。	正常

2. 電源のオンとオフ

このボタンを2秒間押し続けるとスピードライトの電源をオンまたはオフにすることができます。このボタンでフラッシュライトの電源を切った後にバッテリーを取り出すことを推奨します。

スピードライトの電源を入れると、充電インジケータが赤色になり、フラッシュが利用可能であることを示します。

充電が約25秒以内に完了していない場合、自動的にシャットダウンします。新しいバッテリに交換する必要があります。

テストボタン[PILOT]を押してスピードライトが正常に動作しているかどうかをテストすることができます。

使用後は、電源スイッチを2秒間押して電源を切ってください。

3. M モード

Mモードでは、フラッシュ出力レベルを好きなように設定できます。

中央の[LEFT] [RIGHT]、[UP] [DOWN]、[OK]で、フラッシュ出力レベルを調整できます。フラッシュ出力レベルは1/128～1/1です。

8段階の出力があり、各レベルには4つの微調整があります。

[UP] [DOWN]は0.3evと0.5evの出力パワーを微調整するために使用します。フラッシュ出力レベルを設定する必要があります。

カメラを調整してシャッターを押します。カメラの同期信号でフラッシュが点滅します。

4. Multi モード

MULTIモードでは、急速な一連のフラッシュが発光されます。これを使用して、複数の画像を動かすことができます。

スピードライトは設定した出力、フラッシュ時間、周波数に応じて点滅します。

[LEFT]、[RIGHT]、[OK]ボタンを使って出力パワー、フラッシュ時間、周波数を調整します。
出力レベルの調整範囲は1 / 128 – 1 / 64 – 1 / 32 – 1 / 16 – 1 / 8 – 1 / 4 です。

フラッシュ時間の範囲は1~100で、フラッシュ周波数の範囲は1~100です。

調整方法：[OK]ボタンを押して設定項目（フラッシュ）を選択し、[LEFT] [RIGHT] パラメータを調整してください。
設定が完了したら、[OK]ボタンを押して設定を確定してください。

電池の電気量が不足している状況下ではスピードライトの充電速度が遅く、高周波フラッシュの発生を引き起こす可能性があります。フラッシュ周波数を下げたり、新しい電池に交換したりしてください。

5. RXスレーブモード

RXスレーブ・フラッシュ・モードは「トリガーモード」ボタンを押して選択することができます。

スレーブフラッシュモードは2.4G無線で送信され、YONGNUOワイヤレストリガRF-602、RF-603をサポートします。

高度なオプション設定によりRF-602またはRF-603トリガをサポートします。

16チャンネル（DH1～CH16）。YN560-IIIとRF-602、RF-603と同じチャンネルに設定するだけで、ワイヤレスフラッシュを使用できます。

RXスレーブフラッシュモードは上に似ていますが、[MODE]ボタンを操作するとM / Multiモードをそれぞれ設定できます。
[---]に設定すると、RXスレーブフラッシュモードのフラッシュが禁止されていることを示します。

6. S1/S2 モード

[トリガーモード]ボタンを押すと、フラッシュはS1 / S2モードに入ります。これらの2つのモードは、オフカメラの補助光として使用するのに適しており、様々な照明効果を作り出します。マニュアルフラッシュ環境、TTLフラッシュ環境を設定します。これらの2つのモードの中で、出力レベルを調整する方法は、[LEFT] [RIGHT]、[UP] [DOWN]ボタンを押すMモードと同じです。

S1 / S2モードでは、フラッシュヘッドを回転させて、ワイヤレストリガーセンサーをマスターライトに向けることができます。

フラッシュがS1モードにあるときは、マスタースレーブの最初の動作と同期して動作し、結果はラジオスレーブの使用と一致します。このモードを正しく使用するには、マスターフラッシュをマニュアルフラッシュに設定し、TTLプリ発光機能を備えたフラッシュシステムと複数のフラッシュを備えた赤減光機能は使用しないでください。

S2モード：「プリ発光キャンセルモード」とも呼ばれます。このモードはS1モードと同様ですが、TTLフラッシュでプリ発光を無視することができるため、TTLモードでのメイン発光をサポートすることができます。特に、S1モードが内蔵フラッシュと正しく同期しない場合は、S2モードを使用することができます。

S1モードとS2モードを使用するときは、次のような状況は避けてください。

使用されている主な光の赤目軽減機能。

マスターのオーダーモード（Nikon）またはワイヤレスモード（Canon）が使用され、フラッシュコントローラとしてST-E2が使用されます

7. テストフラッシュ

いずれのモードであっても、PILOTボタンを押すとスピードライトが瞬間に点滅するかどうかをテストできます。

スピードライトをテストすると、選択された出力設定に従って関連する出力レベルでフラッシュが得られます。

8. 省エネモード

さまざまなフラッシュモードでは、YN560-IIIはさまざまな省電力モードを実行します。

たとえば、<SE oF3 30>はフラッシュトップ使用を示し、3分間アイドリングした後スリープモードになり、アイドリング30分間に自動的に消灯します。

YN560-IIIは、トップフラッシュボーラーセービングモード、S1/S2フラッシュ省電力モード、RXラジオフラッシュ省電力モードを含む3つの異なる省電力モードを持っています。

さまざまな省電力モードは、高度なオプションで設定することができます。

設定方法：[イルミネーション/サウンド] + [モード]を操作してアドバンスドオプションの設定状態に入り、[UP]、[DWON]ボタンで設定する項目を選択し、[左]、[右]で調整します。

高度なオプションで節電モードを設定することができます。

Fn オプション	適用範囲	省エネモード
SL EP on/-	すべてのモード	省電力モードをオンまたはオフにする
SE oF3 30/15 60/30 120/ -- 120	カメラのセットアップ	3 30/15 60/30 120 : 3/15/30分アイドル状態にすると休眠状態になります。30/60/120分になるとスピードライトがシャットダウンします。 -- 120 : 休眠なし、120分間放置した後にシャットダウン。
Sd 30/60/120	S1 / S2スリープ フラッシュモード	30/60/120 : 休眠ではなく、30/60/120分間放置した後にシャットダウンします。

Sd 5 30/15 60/30 120/ -- 120	R Xスレーブ フラッシュモード	5 30/15 60/30 120 : 5/15/30分アイドル状態にすると休眠状態になります。 -- 120 : 休眠なし、120分間放置した後にシャットダウン。
---------------------------------	---------------------	---

9. 過熱保護

スピードライトの使用頻度が高すぎると、過熱保護機能が作動し、充電速度が通常より遅くなります。そのような場合は、保護を解除するのに約3~5分お待ちください。

撮影に影響を与えないようにするためにには、急な撮影が必要な場合は、出力を1/4以下にしてください。

10. 手動でズーム位置を設定する

[ZOOM]ボタンを押すと、手動でズーム位置を設定できます。

(24/28/35/50/70/80 /105mm) の中でスピードライトのカバーされた焦点距離が切り替わると、ズーム設定結果がLCD画面に表示されます。

11. サウンドプロンプト

サウンドインジケータが有効になっている状態で、スピードライトはその動作状況を示すために異なる音が鳴ります。音の意味は下の表のとおりです。

音の状態	内 容	操作
2度連続音	起動される/音声プロンプトが有効/フラッシュが得られる。	正常
3度連続音	充電状態	充電の完了を待つ

連続的で速い音	電力が十分ではなく、電源がオフになります。	電池を交換してください。
長く続く音	完全に充電され、使用することができます。	正常

12. PC同期ポート（入力用）

PC同期ポートに接続することで、フラッシュを同期させることができます。

13. 自動設定保存

起動後に次回より簡単に使用できるように、自動的に現在の設定を保存します。

VII. 高度なアプリケーション

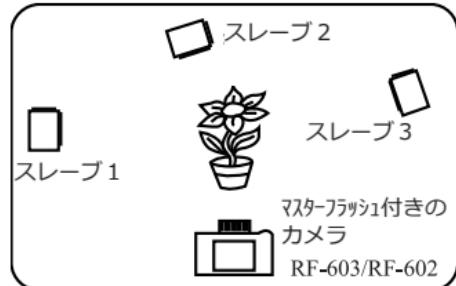
1. マルチフラッシュ照明アプリケーション

YN560-IIIには、S1 / S2スレーブフラッシュモードだけでなく、YONGNUO RF-602、RF-603 トリガとの互換性がより高いRXスレーブフラッシュモードが用意されています。

S1 / S2スレーブフラッシュモードを使用する場合は、内蔵フラッシュまたは上部外部フラッシュをメインフラッシュとして使用します。RXスレーブ・フラッシュ・モードを使用する場合は、RF-602、RF-603トリガを直接使用し、YN560-IIIのアドバンスト・オプション設定で互換性のある[RF-602]または[RF-603]トリガ方法を設定し、RF-602、RF-603を同じチャネルとして送信します。目を見張るようなフラッシュを行うことができます。

S1 / S2を使用すると、メインフラッシュとスレーブフラッシュの間に障害物を置かないでください。障害物がワイヤレス信号の送信を妨げることがあります。

ワイヤレスの感光性トリガフラッシュは屋内で最大25メートル、屋外で最大15メートルまで使用できます。



RXスレーブフラッシュモードを使用すると、障害物の電波信号への影響を効果的に減らすことができます。同時に、遠方にトリガー距離を伸ばすことができ、最大距離は最大100メートルです。

必要に応じて現在の状態に適したスレーブフラッシュモードを選択することができます。

2. 外部充電箱の使用

SF18CやSF17CのようなYONGNUO外部充電ボックスを購入し、フラッシュの充電口に接続することができます。フラッシュ後、充電ボックスはスピードライトを充電します。

3. 高速連写

高速連続撮影機能を実現することができます。連続撮影してください。

注意：連続撮影可能な写真の枚数は出力レベルに関係します。満充電のバッテリーを使用してください。

4. 後幕シンクロ

低速シャッターを使用して被写体のスミアを発生させることができます。

シャッターが閉じられる瞬間にフラッシュライトが点滅します（後幕シンクロ機能はカメラの機能を必要とします）。

設定方法についてはカメラのユーザーマニュアルを参照してください。

5. 高度なオプション設定

YN560-IIIは高度なオプション機能を備えており、必要に応じてスピードライト機能をカスタマイズし、スピードライトのボタングループで高度なオプションを設定することができます。

スピードライトのボタンの設定方法：[照明/サウンド]、[UP]、[DOWN]ボタンを押して設定項目を選択し、[LEFT]、[RIGHT]を押して各項目のパラメータを調整すると、LCD画面に設定項目が表示されます。<SE of 3 30>は屋内の使用を意味し、スピードライトは3分間アイドル状態であれば自動的にスリープし、3分間アイドル状態であれば自動的に電源が切れます。

YN560-IIIでサポートされている高度なオプション機能は次のとおりです。

SL EP on: 自動電源オフが有効になっている

SL EP --: 自動電源オフ機能は無効です



SE oF 3 30/15 60/30 120: 3/15/30分休止状態に入ると休眠状態に入り、
30/60/120分はスピードライトを停止する。

SE oF -- 120: 休眠なし、120分後にシャットダウン。

SE 3 30
oF

Sd 30/60/120 :S1 / S2、30/60/120分以内のスレーブオートパワーオフ解除

Sd 60

Sd 5 30/15 60/30 120: RXワイヤレスフラッシュ、5/15/30分休止状態に入ると
休眠状態に入り、30/60/120分はスピードライトをシャットダウンします。

Sd -- 120: 休眠なし、120分間放置した後にシャットダウン。

Sd 5 30

Lcd 7/15/30: LCDバックライトの表示時間は7/15/30秒

lcd 7

So nd on: サウンドプロンプト機能が有効になっている
So nd - - : サンウンドプロンプト機能が無効になっている

so nd on

Inc 0.3: 微調整ステップ0.3ev
Inc 0.5: 微調整ステップ0.5ev
Inc 0.3 5: 0.3evと0.5evを微調整ステップ用に混ぜる

inc 0.3 5

qu ic - -: クイック・オン/シャットダウン機能が無効
qu ic on: クイック・オン/シャットダウン機能が有効

qu ic --

rF 603: RF-603トランスマッタに対応
rF 602: RF-602トランスマッタに対応

rF 60 2

CL EA

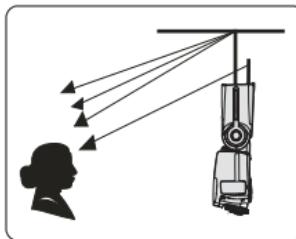
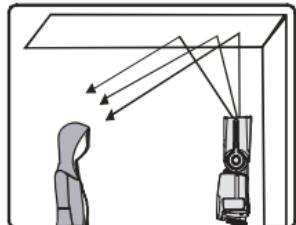
CL EA - -: デフォルト設定を復元します（[OK]ボタンを押して、デフォルト設定を回復します）

6. 反射フラッシュ

バウンスフラッシュは、フラッシュライトヘッドを壁や天井に向けて撮影し、天井や壁から反射した光を使って目的の被写体を照らして撮影することで、より自然な撮影効果を得ることができます。

壁や天井があまりにも遠すぎると、バウンスフラッシュが弱すぎて十分な露出を得ることができません。

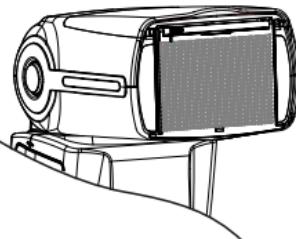
壁や天井は効率的な反射を得るために平坦な白でなければなりません。反射面が白色でない場合、写真にカラーキャストが現れることがあります。



7. 反射板を使って写真を撮る

反射板をフラッシュした状態で、反射板と広角拡散板を同時に光ヘッドから引き出し、広角拡散板を押し戻す。

この製品を使用して写真を撮ると、被写体の目に強調表示され、目を魅力的にします（光を捉える）。この機能は、フラッシュヘッドが 90° を上回ったときに最適な効果に達することができます。



8. 広角ディフューザーを使用する

広角拡散板を引き出し、反射板を押し戻し、図のように配置してください。

この場合、フラッシュスコープは18mmになり、フラッシュ効果はより柔らかくより自然になります。

VIII.仕様

回路設計	絶縁ゲートバイポーラトランジスタ (IGBT)
ガイドNo.	58 (ISO 100, 105mm)
フラッシュモード	M, Multi
トリガーモード	カメラ設定、S1、S2、RX
ズーム範囲	24, 28, 35, 50, 70, 80, 105mm
垂直回転角	-7~90 度
水平回転角	0~270 度
電源	4x単3形乾電池（アルカリまたはNi-HM使用可能）
点灯回数	100~1500回（単3形アルカリ電池使用）
リサイクル時間	約3秒（単3形アルカリ電池使用）
色温度	5600k
フラッシュ時間	1/200秒~1/20000秒
フラッシュコントロール	8レベルの出力制御（1/128~1/1）、29レベルの微調整
外部インターフェース	ホットシュー、PCポート、永久充電ポート
ワイヤレストリガー距離	100m（2.4Gワイヤレス）；室内20~25m、屋外10~15m（光学的制御）
追加機能	電子フラッシュヘッドズーム、音声プロンプト、自動保存設定、省電力モード、過熱保護、および高度なオプションが含まれます。
大きさ	60×190×78mm（拡張状態）
正味重量	350g
アクセサリー	フラッシュライト(1)、保護袋(1)、ミニスタンド(1)、マニュアル(1)

焦点距離範囲のガイド番号（ISO 100で、メートル/フィート）

フラッシュ 出力	フラッシュカバレッジ (mm)							
	14	24	28	35	50	70	80	105
1/1	15/49.2	28/91.9	30/98.4	39/127.9	42/137.8	50/164	53/173.9	58/190.3
1/2	10.6/34.8	19.8/65	21.2/69.6	27.6/90.7	29.7/97.4	35.4/116.1	37.5/123	41/134.5
1/4	7.5/24.6	14/45.9	15/49.2	19.5/64	21/68.9	25/82	26.5/86.9	29/95.1
1/8	5.3/17.4	9.9/32.5	10.6/34.8	13.7/45.2	14.8/48.6	17.7/58.1	18.7/61.4	20.5/67.3
1/16	3.8/12.5	7/23	7.5/24.6	9.7/32	10.5/34.4	12.5/41	13.3/43.6	14.5/47.6
1/32	2.7/8.9	4.9/16.1	5.3/17.4	6.9/22.7	7.4/24.3	8.8/28.9	9.4/30.8	10.3/33.8
1/64	1.9/6.2	3.5/11.5	3.8/12.5	4.9/16	5.3/17.4	6.3/20.7	6.6/21.7	7.3/24
1/128	1.3/4.3	2.5/8.2	2.7/8.9	3.5/11.4	3.7/12.1	4.4/14.4	4.7/15.4	5.1/16.7

IX. 使用時および解決時に発生する可能性のある問題

1. フラッシュを屋外で使用する場合は注意してください。

屋外での使用の場合は、ワイヤレストリガーセンサーの直射日光を避け、通常のフラッシュの使用を確保してください。

2.傘の屋外使用のための予防措置

屋外でフラッシュに取り付けられた傘は簡単に吹き飛ばされ、フラッシュのホットシューが壊れることがあります。取り付けラックを固定したり、屋外の使用を避けてください。

3.写真は露出不足か露出過剰か？

設定されたシャッター、絞り、ISOがフラッシュ限界に近づいていないかどうか、またはフラッシュとの関連で何らかの設定が行われていないかどうかを確認してください。

4.ピネッティングが写真に写っている、または被写体の一部だけが照らされていますか？

現在の焦点距離の範囲を確認し、レンズの焦点距離がフラッシュの有効範囲を超えるかどうか確認してください。

製品のズーム範囲は中規模フォーマットシステムの24~105mmです。広角ディフューザーを引き出してフラッシュ範囲を広げることができます。

5.フラッシュライトが異常ですか？

フラッシュライトとカメラの電源を切って、カメラのホットシューにフラッシュライトを取り付け、フラッシュライトとカメラの電源を入れ直してください。

異常が続く場合は、バッテリーを交換してください。

このマニュアルの機能は、当社の試験条件に基づいています。

また、設計および仕様が変更された場合、さらに通知は行われません。

このマニュアルに掲載されているYONGNUOのロゴには、中国またはその他の国（地域）における**SHENZHEN YONGNUO PHOTOGRAPHY EQUIPMENT Co., Ltd**の登録商標または商標が含まれています。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。